

きさらづ 市民ネットワーク通信

No. 64
(2014年夏号)

発行/きさらづ市民ネットワーク 発行責任者/金井珠美
木更津市八幡台 3-4-8 TEL・FAX: 0438-36-0677



- インデックス
- 引っ越しました。ネットの事務所 【お知らせ】 まちかどカフェ
 - 6月議会で質問…その後 PCB廃棄物のその後
 - 来年度から使う小学校の「教科書展示会」へ行く
 - 集団的自衛権には反対
 - 市民からの問題提起



市民ネットワーク千葉県のキャラクター「ネットりん」↑

市議会議員 田中のりこ

暮らしの中で感じたこと、思ったことは
ブログやfに、日々更新中。



田中のりこ
ホームページ

田中のりこと市民ネット 検索

田中のりこのブログ 検索

引っ越しました！ ネットの事務所

市民ネットワークの事務所は、市民活動の拠点です。

真舟に7年間

2007年6月に真舟に移転して、広い駐車場を利用して月一回の「もったいない市場」を開催、生活バス、介護保険などの学習会を開き、地元の皆さんと交流してきました。

2011年の選挙で議会へ田中のりこを送ることもできました。これまで、真舟を拠点として大切な出会いとつながりができたことを心から感謝しています。



花でお出迎えの事務所の玄関

開と市民参加』です。地方分権が進む今、どのような情報公開が必要なのか、

どういう形での市民参加ができるのかを、みなさんと一緒に進めていけたらと考えています。

来年は選挙の年

泣きわめく議員や議場で女性蔑視のヤジを飛ばす議員がいました。互いの主張を議論する場が議会のはず。市民にとって生活の現場から意見を言い、政策提案できる議員を選ぶことが大事と市民ネットワークは主張してきました。

前回の選挙で、田中のりこを議会に送り、市民からの意見を元に「放射能、子育て、介護、教育現場、空き家」など身近な問題を質してきました。より一層身近な議会にしていくために、来年の選挙に再挑戦します。(金井)

そして八幡台へ

次のステージとして、市民ネットワークの支援者が多く、活動を一層広げられる可能性が高いという

ことから拠点を八幡台と決めました。市民ネットワーク運動は『情報公



八幡台の借家を事務所に



まちかどカフェ

午後のひととき、おしゃべりしながらお茶しませんか。

8月26日(火)13:30~15:30

場所:ネットの事務所(上記地図参照)
駐車場に限りがありますので、お散歩がてら、おでかけください。

飲み物とスイーツをセット(200円)
お話したい方、お好きな時間にどうぞ。

田中のりこより



6月議会で質問…その後

市民の声を反映した市政の推進 公民館でも意見公募

条例(市の法律)や市の計画などを決めるときには、限られた期間、市民の意見を求めています。これを意見公募(略称パブコメ)といいます。公民館で資料は閲覧できたものの「何について、いつまで意見を求めているのか」掲示せず、意見はFAXや郵送、メール、市役所へ持参に限られていたため、改善を求めました。



公民館の窓口でも意見を提出できるようになりました。左写真は公

民館にある意見公募用提出の封書です。

森林を守る林地開発制度 0.3ha以上はまず計画

市に伐採届を提出してできた、上烏田浄水場の奥の崖に



ある0.3ha未満の資材置き場(写真)。その後、規模拡大のため、伐採届を再度提出。0.3ha以上

の林地開発は、県に調整池や堀などの計画を、市に伐採届を出すきまりがあります。現状は市に伐採届を出し伐採を終え、県への計画の申請はまだ。崖の下には、水田があり、この状態が続くと森林の役

割(①災害の防止 ②水害の防止 ③水の確保 ④環境の保全)が保てず、改善を求めました。県と市が連携し、今後は県に計画を申請した後に、市に伐採届を出すようになります。なお、田中のりこはこの資材置き場を注視し続けます。

大型車の林道通行は15台/日

市の林道条例で、林道を往来する大型車は1日往路復路計15台までと決まっています。調査したところ、3月は10倍を超える通行量があり質問。今後は指導を徹底すると執行部の答弁でした。

12月議会で質問…PCB廃棄物のその後

学校など公共施設のPCB廃棄物は、クリーンセンターに一括保管を進行中。7/31に、クリーンセンターの上階に持ち上げるクレーンを設置、順次保管します。

来年度から使う小学校の「教科書展示会」へ行く

6月27日、君津合同庁舎での教科書展示会に行きました。小学6年生でこんなに学ぶのかと驚きました。

ある出版社の6年生の社会の教科書。

市議会議員は、選挙によって選ばれ…中略…計画が本当に市民の役に立つものか、市の将来にとって良い条例なのか、市民の代表として真剣に考えて決定することが大切で、常に市民の目線で考える姿勢が議員に求めら

れます。

また、市の仕事が正しく行われているかをチェックしたり、市だけでは解決できない問題について、県や国に働きかけたりすることも議員の大切な仕事です。

「集団的自衛権」に反対

7月1日、集団的自衛権が閣議決定。憲法を解釈改憲し、さらに国会でも議論しないやり方には「不安増」。市民ネットワークは、木更津駅前では反対の署名活動(右写真)をしました。署名は9月半ばまで受付中。



市民からの問題提起 No.3

委員会傍聴で感動

6月18日、市議会の教育民生常任委員会を傍聴した。主に学校の耐震化工事入札結果についての議案が、目の前で活発に議論され、感動さえ覚えた。実は、昨年9月議会の委員会では、討論・採決の場面は傍聴できなかったからだ。傍聴者には資料が配布されない。委員の名前もわからず、座席表がほしかった。

25日、議会最終日の本会議を傍聴。付託議案が各委員長から結果報告された。付託された議案はこのように討論・採決を経て最終日の本会議に報告し、再度本会議で意見を聞き、

採択されていく流れを知った。

本会議では期待外れ

委員会の討論・採決を傍聴できたことで、本会議が形式的なものに思えた。本会議では、各委員長からほとんど採決の結果のみの報告。18日の討論の様子は、なぜ報告されないのか疑問を感じた。結果だけでなく、経過も報告されるとよかった。議案



がスムーズに通るばかりでは、役所の思いどおり。私は、今後も傍聴し続けることにした。(ゆきこ)

【編集後記】6月議会で委員会傍聴。学校の耐震化工事請負契約の締結の議案■同一家族が経営する2社が、5つの事業すべての入札に参加。そのうち3事業をこの2社が行うことに議論白熱■木更津市は他自治体と同様の入札制度で問題はない。しかし、国にはこのようなことを規制する決まりがある■市民感覚からより透明性は求められる。「1つの事業の入札に参加するのは、同一親族が経営する場合はどちらか1社にする」なら、より公正と考える■最終日の本会議で私は「公正な入札をするため、より透明性を求め、今年度中に制度改正すると執行部の明解な答弁が委員会であり、次年度には改善すると判断し、賛成である」と意見を述べたのだった。(紀子)